

スーちゃんは私の青春

女優の田中好子さんが4月に乳がんで亡くなられました。彼女は1970年代に一世を風靡した人気アイドルグループ「キャンディーズ」のメンバーで「スーちゃん」の愛称で親しまれていました。享年55歳でした。

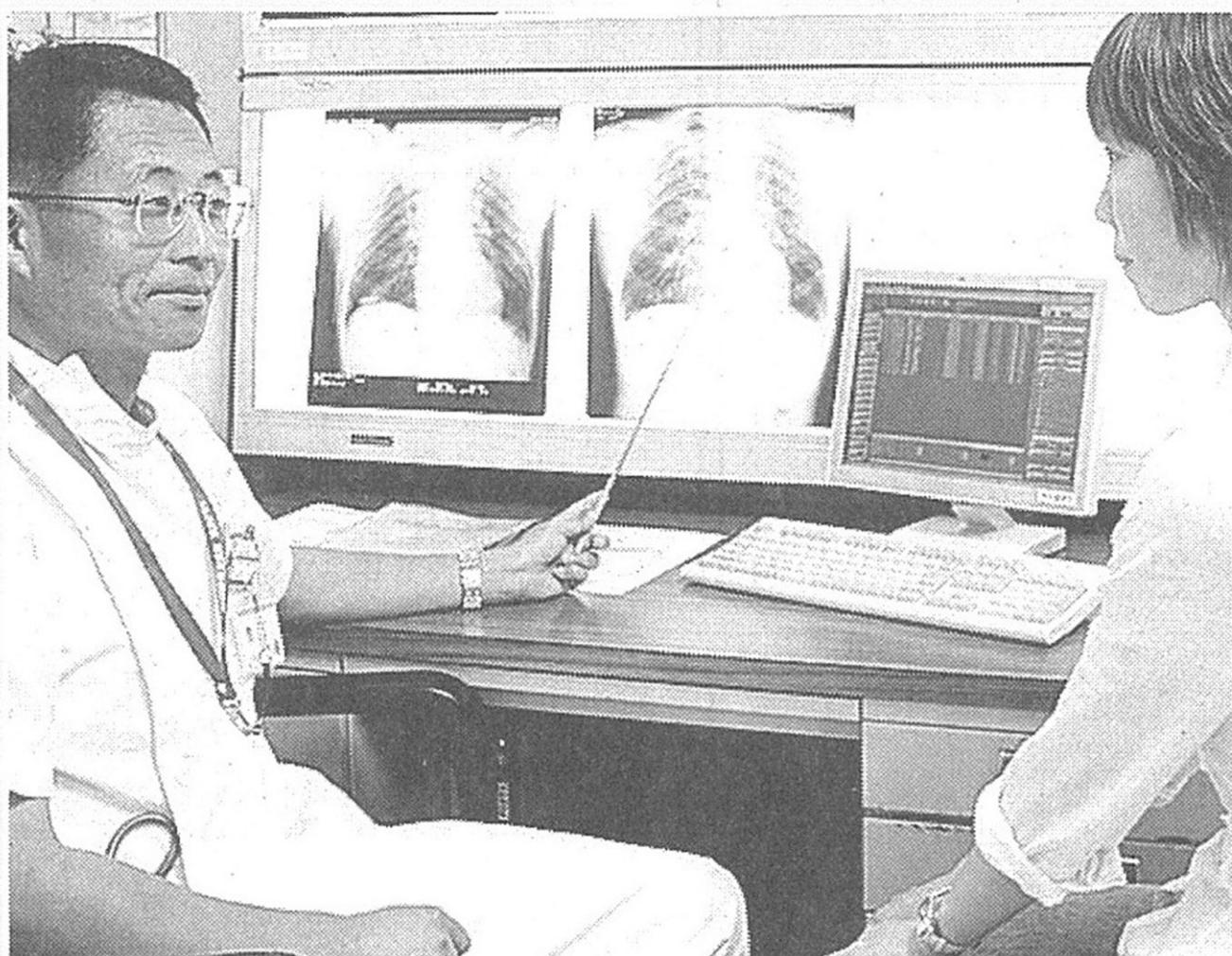
キャンディーズと同じ時期に青春を駆け抜けた私にとって、スーちゃんの死は大きなショックでした。私が大学に入学した昭和50(1975)年に発売された「年下の男

克服へ

■乳がん編

【1】
工藤 明敏

16人に1人がかかる



診察する工藤明敏医師

暮らしの広場

「子」が大ヒットし、バラエティーもこなすキャンディー派、ミキちゃん派、エテイー派は一躍スターとなりました。

「自分はスーちゃん派、ラ

ンちゃん派、ミキちゃん派」と、私は自らを色分けしていました。スターの座を獲

得した後も庶民的な明るさで、私もファンの一人でした。

しかし、「普通の女の子に

連しております。予防することは難しいとされています。今後

さらに乳がんの患者さんは増加すると予想されます。

早期発見のためには、日々から定期的に自分の乳房を観察し、変化を早めに見つけることが大切です。早期発見は自己検診から始まります。

スーちゃんは30代後半に乳がんを発症し、左乳がんの手術を受けられました。乳がんは小康状態で女優業も続けていましたが、新聞記事による

と、今年2月、肺や肝臓にがんが転移していることが分かったそうです。発病から19年という長い闘病でした。

このように、乳がんは他のがんに比べて罹病期間が長いことが特徴です。日本では毎年4万人以上の女性が乳がんで治療を受けています。これは女性の生涯を通してみると、16人に1人が乳がんにかかる計算となります。つまり、中学校の同級生16人が集まる

と、一生のうちに誰かが乳がんにかかるわけです。

乳がんは食事をはじめとする欧米化された生活習慣が関

係りません。スーちゃんの告別式で彼女の肉声が流れました。聞く度に目頭が熱くなります。私の

思いよ、天国のスーちゃんに届け!

(阿知須共立病院診療部長、外科部長)

II 第2、4火曜日掲載